

先進医療に関する説明書・同意書

(膜構造を用いた生理学的精子選択術)

1. 本治療の概要

体外受精や顕微授精では、受精に適した良好な精子を選別することが重要です。一般的には、遠心分離機を用いた密度勾配遠心法により精子調整が行われています。この方法により妊娠・出産に至った症例は多数ありますが、一方で、良好な受精卵が得られない、胚移植を行っても妊娠に至らないといったケースも存在します。近年、遠心分離を用いた精子調整では、精子への物理的負荷により、精子 DNA の断片化が生じる可能性があることが報告されています。本治療は、マイクロ流体技術を利用した精子選別法であり、遠心分離を行わず、精子本来の前進運動能などの生理的特性を利用して精子を選別します。これにより、精子への負担を軽減し、DNA 損傷の少ない精子を回収できる可能性があると考えられています。

2. 方法

本治療で使用する精子選別には、マイクロ流体技術を用いた専用の装置（キット）を使用します。

- ・遠心分離を行わず、膜構造を通過できる前進運動性の高い精子を選別します
- ・精子頭部の大きさや運動性など、生理的特性に基づいて良好精子を回収します

採卵、体外受精（顕微授精）、受精卵培養、凍結保存および胚移植までの流れは、当院で通常行っている体外受精治療と同様です。

3. 対象となる方

以下のいずれかに該当する方が対象となります。

- ・体外受精（顕微授精）を行っても移植可能な胚が得られなかった、または胚移植を行っても妊娠に至らなかった方
- ・体外受精（顕微授精）を行う予定の方

※適応外となる場合

- ・精液所見が不良で、本装置による精子回収が困難と判断された場合
- ・凍結融解精子を使用する場合

また、本装置は構造上、使用できる精液量が限られているため、想定より回収できる精子数が少なくなる可能性があります。その場合、体外受精から顕微授精へ治療方針を変更せざるを得ないことがあります。

4. 期待される効果

本治療は、精子への負荷を軽減し、DNA 損傷の少ない精子を選別することで、体外受精（顕微授精）における培養成績の改善や、その後の妊娠成績の向上が期待できる可能性があります。

しかしながら、本治療を行った場合でも、受精卵の発育、妊娠率、着床率が必ずしも向上するとは限りません。治療効果には個人差があり、年齢や卵子・精子の状態など、さまざまな要因が影響します。

5. 費用

30,000 円（非課税）

※本治療は先進医療であり、公的医療保険の適用外となります。

私達夫婦は、医師やスタッフからの説明と文書によって下記の事項について十分理解し、納得した上で、本治療の実施に同意します。

説明責任者 東京 ART クリニック 院長 小川 誠司
説明年月日 年 月 日 説明者 _____
同意年月日 年 月 日

住 所： _____

夫（診察券番号）： _____ 氏名（自署）： _____

妻（診察券番号）： _____ 氏名（自署）： _____

患者様控えは、大切に保管して下さい。